

# 編集者から FROM THE EDITOR

(小松 宏昭 [訳])

## NCGT ジャーナルは商業化された

3月31日をもって、The New Concepts in Global Tectonics(NCGT)の2017年版が商業化されることになった。これにより、われわれは商業ベースでの運営が可能になった。

国際地震・火山予知センター (IEVPC) との共同作業において—そこでは私は創立者であり、指導者であるのだが—われわれは、これからの新刊やすでに発行された機関紙に対する購読料を請求することができるであろう。IEVPCは(この)機関紙を販売することについての権利を認めてきたし、彼らのウェブサイトや他の機関からのものも認めるであろう。IEVPCのウェブサイトはwww.ievpc.org.である。NCGT Journalの新しいウェブサイトはwww.ncgtjournal.com.である。編集者のウェブサイトはresearch@ncgtjournal.com.である。

このことは世界中のNCGTジャーナルへの投稿者や読者にとって大きな前進であり、またNCGTに関係するすべての人々にとって長く、広範囲にわたる恩恵が与えられることになる。ここに、それらのいくつかをあげる。

### 1. 安定した収入

NCGT Journalを商業ベースに乗せることは、財政上の根本的な問題—われわれのグループが長い間直面していた恒常的な資金不足—を解決することになる。機関紙の売り上げやそれに関連した物品の販売による定期的収入によって、われわれは、最終的にさらに多くのどの団体にも所属しない思想家や、自分たちの仕事や意見の公表のために広範囲の読書や費用をかけずに得られる情報を必要としている人々との交流ができるようになるだろう。

### 2. NCGT JournalとIEVPCの永続性

Journalの売り上げによる最低限の資金によってIEVPCとNCGT Journalは、常置のオフィスとスタッフをおくこ

とができるようになるだろう。オフィスの設立とスタッフの常駐は、スタッフの重要な使命を遂行するための能力の向上に役立つであろう。このことは、基金が設立された後の組織をいかに存続していくかという根本的な問題も解決する。

### 3. 増加する組織的な承認と信用性

残念なことに現実世界は、未だにお金によって回っている。われわれの組織が国際的な注目に値するものとなるためには、財政基盤の確立が必要である。

### 4. 投稿者のための討論の機会の増加

NCGT Journalの商業化によって、われわれは、Journalへの投稿者の増加への対応能力を大幅に改善することができるであろう。これによってJournalへの学術論文や意見は、われわれの科学的共同体のメンバーの枠をはるかに超えた大勢の読者に届くだろう。新しいJournalは、これを読んでいる個々の研究者の意識を全世界的なメディアや多くの一般読者と同じくらいの数の国際的な指導者に広げるためのマーケティング力を持つであろう。

あなたがたは、20年以上に渡ってNCGT Journalの誠実な投稿者であり、読者であった。私はこのJournalの発行を今日まで支えてくれた多くの人々に助けられてきた。IEVPCの助力と相まってわれわれは今まで以上のことをすることができるだろう。そして、(われわれの)これまでの努力は、正しい革新的なアイデア、研究やこのJournalを科学的な文献のひとつにする人たちの増加をもたらすことになるであろう。

私は、NCGT Journalの新しい段階に期待し、皆様に関係する人たちを通じてJournalの重要な次の段階が始まったことを広めていただきたいと思う。